

環境への取り組み

雪印メグミルクグループは、自然の恵みから生まれる乳(ミルク)を中心とした事業活動を行なう上で、大切な地球環境を次世代に引き継ぐために、グループ全体で環境保全活動を推進しています。

環境マネジメントの推進

雪印メグミルクは、事業活動に伴う環境への影響だけではなく、社会に与える影響も考慮しながら、環境と経営が調和した環境保全活動への取り組みを積極的に行なっています。

● 環境方針

雪印メグミルクは、「法令の遵守」、「環境への配慮」、「環境意識の向上」、「環境情報の開示」の4項目を環境保全活動の基盤として、環境負荷低減の取り組みや環境教育の推進などによる環境保全活動を通して社会的責任を果たしていきます。

雪印メグミルク環境方針

私たちは、「雪印メグミルク行動基準」に則り、環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷低減を図ります。そして、自然の恵みから生まれるミルクを中心とした事業活動と地球環境の共生に努めます。

1. 法令の遵守

環境法令・条例等を遵守し、法改正等に迅速に対応します。

2. 環境への配慮

省エネルギーと廃棄物の適正管理を実施し、継続的に改善します。

3. 環境意識の向上

一人ひとりが環境保全に対する自覚を持つとともに、環境教育を積極的に推進します。

4. 環境情報の開示

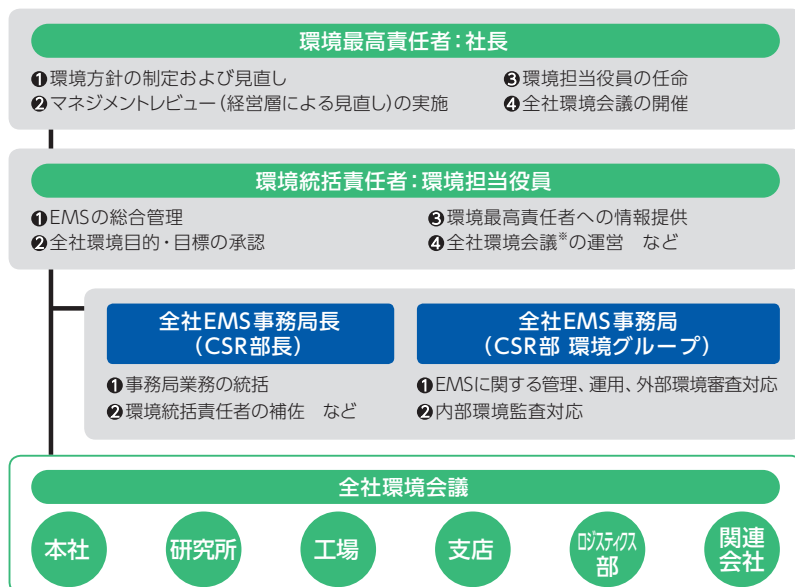
環境情報を積極的に開示し、透明性のある環境保全活動に努めます。

● 環境マネジメント体制

雪印メグミルクの環境マネジメントは、環境保全活動の最高責任者である社長をトップに、環境担当役員が環境統括責任者としてEMS^{*1}の総合管理を行なっています。また、各部門には環境管理責任者を置き、ISO14001^{**2}に準拠したEMSを推進しています。

*1 EMS：環境マネジメントシステム、Environmental Management Systemの略。
 **2 ISO14001：組織内で環境保全に取り組むための国際規格。

環境マネジメント体制図



* 全社環境会議：全社環境目標の協議と進捗管理を行なうとともに必要な措置の決定を行ない、EMSが適切に効果的に機能していることを確認する会議。

私のCHALLENGE

三和流通産業(株) 総務部 須永 亜紀(左)

「縁の下の力持ち」になるべく、知識の向上と心地よい職場作りに努めていきます!!



● ISO14001 認証の継続

雪印メグミルクは、企業活動が環境に及ぼす負荷を少なくするために環境保全に積極的に取り組んでおり、その成果を内外に客観的に示すために、環境に関する国際標準規格であるISO14001の認証を取得しています。

2015年9月にはISO14001規格が11年振りに大きく改正されました。新しい規格はこれまでのものよりも、環境保全活動と事業活動が一体化した形で運用されることが求められ、認証を継続するためにはEMSの仕組みを大幅に改正する必要性がありました。

雪印メグミルクは、「自然の恵みから生まれる乳(ミルク)を中心とした事業活動と地球環境の共生に努める企業」と

して、早期に新規格への対応に取り組み、2016年4月より新たなEMSを全社で開始しました。

10月に予定されている外部審査では、新規格に対応したISO14001の認証を取得し、これからも環境にやさしい企業であり続けることを目指します。



前回の継続審査(左:本社 中:中四国支店 右:福岡工場)

● 環境法令の遵守

雪印メグミルクは、環境法令や地域条例を確実に守るため、様々な工夫を行っています。

社内イントラネットを利用した環境法令の周知徹底や、全事業所に対する年1回の定期法令遵守評価の他、身近な疑問に対しては「環境Q&A」による事例の紹介も実施しています。

工場・研究所・ロジスティクスセンターでは万一の緊急事態に備え、対応手順や連絡方法を定め、定期的な設備の点検や教育・訓練を実施しています。



イントラネットの条例検索画面

● 内部環境監査

環境監査には、審査機関による外部環境審査と社内で行なう内部環境監査があり、EMSの運用状況や環境法令の遵守状況を総合的に確認しています。

2015年度より、内部環境監査は監査を多角化し、現場により近い監査員で行なう第一者監査と、本社や他事業所の監査員で行なう第二者監査の体制としました。

第一者監査では施策項目の深掘りによる業務改善効果が現れ、第二者監査では外部の目による法令順守の確認やEMS運用上の課題発見に大いに役立ちました。



内部環境監査(左:みちのくミルク 右:福岡工場)

● 環境教育

雪印メグミルクでは、社内イントラネットを活用したe-ラーニングにより、全従業員に対して環境教育を実施しています。また各部署に必要な環境教育を個別に計画し環境に対する意識向上を図っています。

内部環境監査員としてのスキルを持つことを目的として、ISO14001審査員資格保有者の監修による、内部環境監査員養成研修を毎年実施しており、各部署における環境活動のキーマンとなる人材の育成に力を入れています。

2015年度は特に生産部門の監査員育成に力を入れ、全工場を対象に現地で研修を実施し、330名の監査員(うち新規養成約100名)を養成しました。



内部環境監査員養成研修(大樹工場)

私のCHALLENGE

グリーンサービス(株) 酪農輸送部 築取 正

ドライブレコーダーを活用しアイドリングストップ、CO₂排出削減に取り組み、環境にやさしい運転をします。



地球温暖化防止と循環型社会構築への取組み

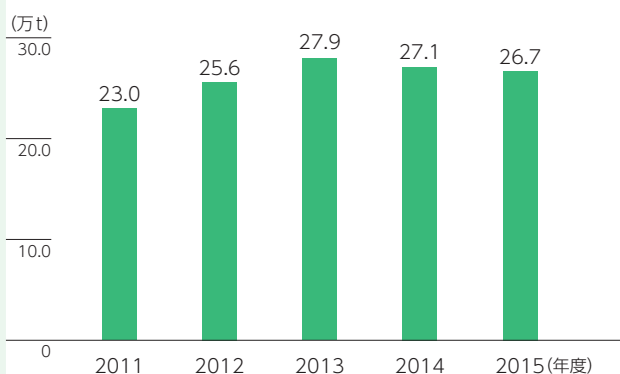
雪印メグミルクは、環境保全をCSRの基盤となる取組みとして捉え、地球温暖化の原因であるCO₂排出量の削減や循環型社会構築に向けた廃棄物の発生抑制やリサイクルの取組みを推進しています。

2016年5月11日現在 過去の実績値については、再精査した結果を反映させております。

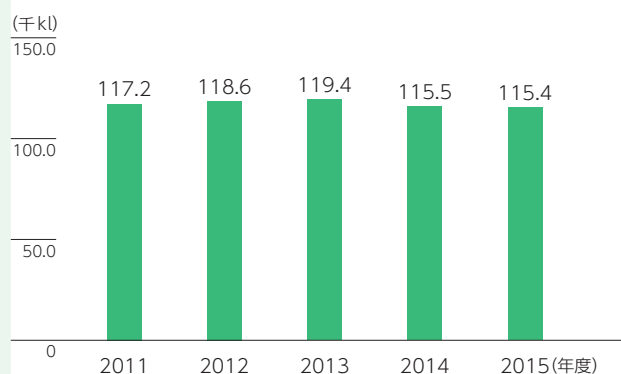
CO₂排出量とエネルギー使用量の推移

- 工場の安定稼働化や使用燃料の重油からガスへの置換などの取組み、全部署の省エネ活動の推進の結果、CO₂の発生量は減少しました。
- エネルギー使用量は前年並みでした。今年度は、エネルギー使用の効率化を更に推進していきます。

CO₂排出量



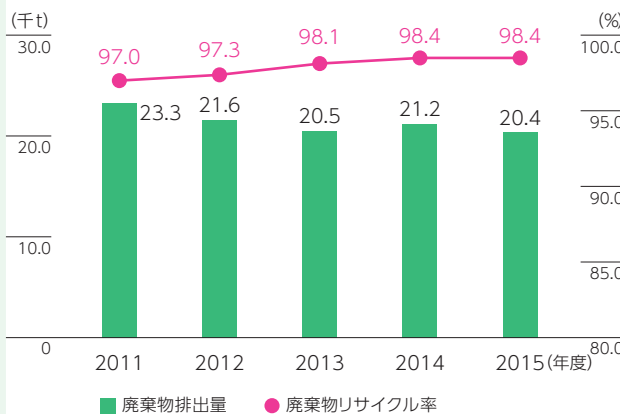
エネルギー使用量(原油換算)



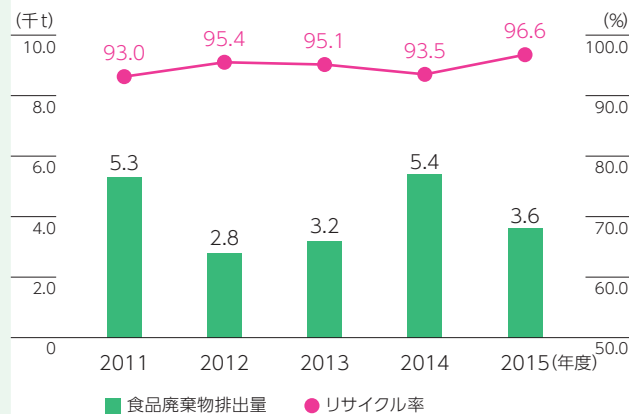
廃棄物・食品廃棄物の排出量とリサイクル率の推移

- 2014年に新規稼働した乳製品工場や大幅増能した市乳工場の稼働率向上により、廃棄物・食品廃棄物の発生量は減少し、食品リサイクル率も向上しました。
- 今後も、廃棄物・食品廃棄物の発生抑制とリサイクル率の向上に努めていきます。

廃棄物排出量と廃棄物リサイクル率



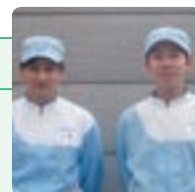
食品廃棄物排出量とリサイクル率



私のCHALLENGE

雪印メグミルク(株) 大樹工場 工務課 小幡 直也(左) 木島 貴仁(右)

大樹工場ではLED化、インバーター化、保温により省エネを図るとともにリサイクル率100%を目指し、日々奮闘しています!



事業活動と環境影響

雪印メグミルクでは、事業活動に伴う環境負荷の状況を把握し、使用するエネルギーや水などの資源を効率的に使用し、原材料や包装材料などは環境にやさしいものを開発するなどの取組みを推進しています。

● マテリアルバランス



● 食品廃棄物の不正転売事件に関して

1月に愛知県の廃棄物処理業者による食品廃棄物の不正転売事件が、発生しました。当社では廃棄物を処理する際には、廃棄物処理法に基づく適切な処理委託契約の締結や、マニフェスト制度に基づく処理状況の把握、処理業者の視察を行っています。また、廃棄の際には、不法投棄や不正転売などのリスクを予防するための各種対策を実施しています。

私のCHALLENGE

(株)エスアイシステム MD事業部 営業部 営業二課 片岡 昂大

入社二年目!一年目で学んだことを最大限活かし、
社会人として更なるスキルアップができるよう頑張ります!



環境保全活動への取組みと支援

● 生物多様性の考え方(生物多様性さっぽろ応援宣言企業)

雪印メグミルクは環境保全活動をする上で「生物多様性」という考え方を重視しています。

私たち乳業メーカーは、牛や牧草はもちろん、酪農に適した気候や豊かな自然環境があってはじめて成り立つ事業です。そのために、従業員一人ひとりが環境に配慮した事業活動を心がけています。

省エネ活動や廃棄物の削減は全社で行っている代表的な活動ですが、物流では原材料や商品の輸送でモーダルシフトや積載率の向上を、工場ではエネルギーの効率化や廃棄物の削減、排水の浄化処理などを、支店では全営業車でエコドライブの取組みなどを行っています。

管理部門でも、クール・ビズやウォーム・ビズによる冷暖房の抑制や電子文書化の推進による紙の削減に努めています。

また、研究開発では環境に配慮した商品設計を行っています。商品をお届けするための容器・包装は石油資源や森林資源から作られますが、デザートやマーガリンで使用されるプラスチック容器は、商品の安全や品質を守りながら薄肉化や環境にやさしい材質への変更をしています。

牛乳パックの原料となる紙は50年～100年かけて計画的に管理された森林から切り出されますが、家や家具として使われた後の端材を使用しています。

生物多様性の考え方をもとに事業活動全体で環境保全活動を推進するための一環として、雪印メグミルクは2016年2月には札幌市の「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」に登録しました。



生物多様性さっぽろ
応援宣言企業登録書

● カーボンオフセットの取組み(酪農と乳の歴史館)



カーボンオフセット
証書

カーボンオフセットとは、植林などの森林保護やクリーンエネルギー事業で得られたCO₂の排出権(クレジット)を購入することにより、企業活動で排出されたCO₂の一部を間接的に削減する制度です。

雪印メグミルクでは昨年に引き続き「北海道 森と大地のカーボンクレジット」

の排出権を購入し、当社創業の地である北海道の環境保全に貢献しています。

購入した排出権は酪農と乳の歴史館の使用電力削減に充て、来場の方々一人当たり400gのCO₂をオフセットしています。



酪農と乳の歴史館
説明パネル

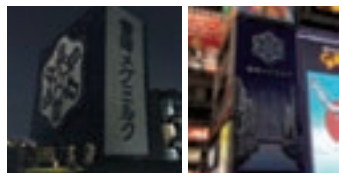
酪農と乳の歴史館

PAGE
22

● 環境イベント・キャンペーン等への積極的な参加

雪印メグミルクでは、環境イベントやキャンペーンにも積極的に参加しています。

一例として、夏至～七夕(クールアース・デー)の期間に環境省主催で行われる「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」では、今年も屋外広告、ネオンサイン、スポットライトの一斉消灯や従業員の一時退社などを実施しました。



本社屋上

大阪道頓堀

また、6月に代々木公園で開催される「エコライフ

フェア」や12月に東京ビッグサイトで開催される「エコプロダクツ展」には



エコプロダクツ2015

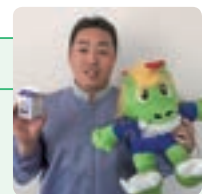
ワークショップで啓発

全国牛乳容器環境協議会(容環協)の一員として参加し、全国牛乳パックの再利用を考える連絡会(パック連)と協働し、牛乳パックの手開き体験や手すきはがきづくり体験、ワークショップなどを通じたたくさんの方々に牛乳パックリサイクルの大切さと再生紙利用の重要性について啓発しました。

私のCHALLENGE

いばらく乳業(株) 生産部生産管理課 鈴木 健大

今年の七夕はクールアース・デーのライトダウンに参加し、家族と天の川を見ます!!



働きがいのある会社の実現のために

従業員一人ひとりが自らの成長を実感して働きがいを感じられることが会社の発展につながっていると考え、その実現を目指してさまざまな施策を展開しています。

「人材育成=自己実現システム」の基本方針

当社の財産であり発展の原動力は「人」であることから、「人」の成長を通して「組織」の成長へつなげることを念頭に置き、以下の方針、取組みにより「常に挑戦する人」の育成を進めています。

基本方針

- ① 中期経営計画達成に向けた人材の育成を、経営状況を踏まえ、過去の育成手段に^{こだわ}拘らず、知恵を出して工夫し推進する。
- ② 階層別研修を通して企業理念浸透をはじめ、中期経営計画や階層に応じた自身の役割認識を高める。
- ③ 公募研修および自己啓発通信教育などによる「挑戦」の機会提供を通して、「自己実現」を支援する。

● 人材の多様性の確保

女性活躍推進

当社は、多様で活力ある、生産性の高い、成長する組織を目指して、『人材の多様性の確保』に取り組んでいきます。その取組みの中核に女性活躍推進を位置付け、2015年12月、西尾社長から女性活躍推進宣言が発信されました。

雪印メグミルクグループ「女性活躍推進」宣言(骨子)

1. 「女性活躍」を企業戦略として推進します。
2. 女性社員が主体的に行動し、影響力を発揮できる会社に変えていきます。
3. 長時間労働を是正し、ワーク・ライフ・バランスを実現できる環境を整えます。

「女性活躍推進フォローアップ研修」での発表の様子



さらに、女性活躍推進法に基づき、数値目標、行動計画の策定、社内外への情報開示を行い、女性活躍推進への理解促進や女性社員育成、両立支援等様々な環境整備の取組みを進めていきます。

● 労働生産性の向上と業務改革

企業の持続的成長と従業員のワーク・ライフ・バランスの実現

長時間労働を前提とした働き方を見直し、育児や介護など時間に制約のある従業員でも、最大限能力を発揮できる環境づくりを進めています。取組み内容の例として、事業所単位における時短目標設定や、労働時間についてシ

ステムを活用し「見える化」します。このような取組みを通じて、従業員の「タイムマネジメント」に対する意識の醸成を図っていきます。また、業務の効率化を推進し、労働生産性の向上を図ることで、企業の持続的成長と従業員のワーク・ライフ・バランスを実現していきます。

私のCHALLENGE

雪印メグミルク(株) 資材調達部 資材調達グループ 木下 知穂

新たな業務、新たな環境、新たな役割、まだまだ毎日が「チャレンジ」の連続です。



● CO₂削減の取組み(阿見工場)

阿見工場では、蒸気の負荷変動によるボイラ発停回数を抑え、ボイラを効率的に運用するためにアキュムレーター(蒸気を貯める装置)を設置し、エネルギーロスの削減を行っています。

製造室の空調設備用として、従来の冷凍機に比べ使用電力量を約60%低減できる高効率ターボ冷凍機を4台設置したり、冷却水ポンプにはPMモーター(永久磁石モーター)を採用するなど電力削減を図っています。



アキュムレーター(2基)



空調用ターボ冷凍機



太陽光パネル(207枚)

また、工場棟屋上には太陽光パネルを207枚設置し年間約45MWhの発電を行い、東京電力(株)に売電し、自然エネルギーの有効活用を行っています。

● 環境にやさしい工場作り(別海工場)

工場で使用する蒸気は、ボイラによって作られます。別海工場では従来は重油を燃料とするボイラを使用していたが、この度重油に比べCO₂の排出量が少なく環境にやさしいと言われている天然ガスを使用する大型貫流ボイラを5基導入しました。



大型貫流ボイラ(5基)

天然ガスは釧路にある液化天然ガス供給基地からローリー車で工場構内に設置した貯蔵タンクへ運び、ガス化して使用します。根室管内では初めての施設で、これからも環境にやさしい工場を目指して、省資源、省エネルギーに努めます。

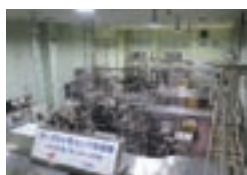


液化天然ガス貯蔵タンク

● 省エネ活動の取組み(みちのくミルク(株))

宮城県大崎市にあるみちのくミルク(株)では省エネ会議を行って従業員の意識を高めながら、省エネの提案や活動の進捗状況をグラフによって見える化し、エネルギー削減の効果を上げています。

製造室の照明設備のLED化、排水処理設備の高効率ブローア導入などによる安定稼働、コンブ



充填室照明のLED化

レッサーのインバーター化、発酵室の自動制御によるエネルギーロスの低減などに取り組み、電気使用量を大幅に削減できました。これらの取組みに対して、2015年度に省エネルギー管理優良工場として「東北七県電力活用推進委員会委員長賞」を受賞することができました。



東北七県電力活用推進委員会委員長賞

● 営業車両の燃費向上の取組み

雪印メグミルクでは、エコドライブ(加減速の少ない運転を心掛けるなど、消費燃料の抑制を意識して運転すること)を推進するため、2015年4月に運転者が燃費を可視化できる燃費測定機を全営業車両に設置しました。その結果、前年度に比べ燃費は4%向上したことに加え、運転者から

安全運転の意識が高まったという声も上がっております。今後も燃費測定機を活用しエコドライブを推進することで、燃費の向上と環境にやさしい運転を目指します。



燃費測定機

私のCHALLENGE

雪印メグミルク(株) 関東販売本部 首都圏中央支店 乳食品二課 今井 貴博

エコドライブによる心にゆとりをもった運転をしたことで、2015年度、首都圏中央支店は無事故を達成しました。これからも社会と環境、私たちに優しい運転を心掛けます。



● 人材育成

階層別研修による組織と人材の活性化

「企業理念の浸透」、「中期経営計画や階層に応じた自身の役割認識」、「部門を越えた積極的な交流」を目的に各階層別研修を実施しています。

職制(主任・副主任)研修

工場・ロジスティクスセンターの職制(主任・副主任)を対象に、職場・ラインの責任者としての知識習得や職場運営のための研修を行っています。2015年度は「パワーハラスメント」をテーマとして実施いたしました。



職制研修



酪農実習



雪印メグミルク
自己啓発通信教育講座リーフレット

新入社員研修

新入社員研修プログラムではビジネスマナー、雪印メグミルクグループの歴史・企業理念、会社の仕組み、商品知識、品質保証、衛生管理、コンプライアンスの遵守などを学び、社会人として、雪印メグミルクグループの一員としての基礎力を養います。

また、当社の使命のひとつである「酪農生産への貢献」を理解する一環として「酪農実習」を実施しています。

今後は各階層ごとに必要なスキルを設定し、併せて、通信教育講座の拡充により更なる「個」の成長を図ることができるプログラムの再開発を進めてまいります。

海老名工場に「技術研修センター」開設

海老名工場に開設されたこの施設は、若手製造技術者を対象に、生産工場で共通する機器類の分解・組み立てを通じ、その仕組みと品質保全、安全作業、5S活動を体験し、現場の技術者の育成と技術伝承を目的として設けられました。

技術研修センターは2016年1月に開所し、少人数で実技を中心とした研修体制で実践しており、この研修を通じて、「ものづくり」への感性・意識を高め、生産技術力の向上に繋がることが期待されています。

作業開始前の安全唱和
「ゼロ災でいこう ヨシ!」



ポンプ分解と仕組みの確認

私のCHALLENGE

雪印メグミルク(株) 海老名工場 製造三課 宮城 仁美(右から2人目)

「いつも笑顔で!」をモットーに日々業務にあたっています。
「女性目線の5S」に力を入れて頑張ります!



地域・社会とのきずなを深める取組み

地域・社会への取組み

● スキージャンプの振興と子どもたちの健やかな成長を応援しています



雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会では女子・ジュニア・少年・成年の部で、中学生からトップ選手までが集います

大会会場では当社選手の紹介パネルや映像、用具の展示により、スキージャンプへの理解に努めました

雪印メグミルクでは、スキージャンプ大会への協賛や各種活動を通じて、スキージャンプの振興に貢献しています。毎年1月に開催される「雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会」は、ジュニアジャンパーがトップ選手と同じ舞台を経験できる全日本クラスの大会であり、夏季に開催



未来のトップジャンパーを育成します

される「雪印メグミルク杯ジュニアサマージャンプ大会」では、参加した子どもたちに五輪メダリスト達によるクリニック(レッスン)も行なっています。

2016年3月には東京都世田谷区の芦花小学校で、前スキー部監督の広報部齋藤課長の指導による五輪体験談、ジャンプ体験、トレーニング指導と栄養士スタッフによるスポーツ食育講話を組み合わせた体験授業を行ないました。これからもさまざまな活動を通じて、スキージャンプの振興と子どもたちの健全育成を応援していきます。



ジャンプ競技に興味を抱いてもらえることを期待します(芦花小学校)

● 牧場での休日を楽しんでいただきました こどもの国牧場まつり

2015年10月31日、11月1日の2日間、横浜市「こどもの国」で牧場まつりを行ないました。「モー」と鳴いて大声を競う「大声コンテスト」や「早搾りコンテスト」などの新企画他多数のイベントを多くの家族連れにお楽しみいただきました。また、牛乳パック工作教室では、牛乳パックリサイクルの大切さをクイズで楽しく学んでいただきました。



人気イベントの1つ。ソフトクリーム朝食の競争



親子で楽しく紙パック工作。リサイクルの大切さを学びました

● 女子サッカーの裾野を広げる 雪印メグミルクカップ全国レディース大会

2015年5月3日～5日、第28回サッカーマガジン雪印メグミルクカップ全国レディース大会が長野県菅平高原にて開催されました。本大会はオープン大会ながらも、全国から強豪チームが集まる女子では最大級の大会です。この大会を経験し、後に日本代表となった選手を多数輩出しています。



レベルの高い試合が繰り広げられました

● 子どもたちの心と身体の成長を願って 雪印メグミルクファミリーミュージカル

2015年8月、大阪メルパルクホールにて夏休みファミリーミュージカルを開催しました。子どもたちの身体と心の成長にも貢献したいという願いで、1985年から実施しています。今回は3回公演で約2,300名のご家族が来場され、会場は熱気に包まれました。



ファミリーコンサート、オリジナルミュージカル“少女ひかりとおはなしの国”でお友達の大切さを学ぶ感動の舞台となりました。

私のCHALLENGE

雪印メグミルク(株) スキー部 (左から)原田監督・伊東主将・岡部コーチ

スキー部は1946年に創部し、今年で70年。次の平昌オリンピックでのメダル獲得に向け、チーム一丸となって頑張っています。



株主・投資家の皆様への情報開示

IRコミュニケーションの取組み

雪印メグミルクは、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のためには、株主、投資家の皆様のご理解とご支援が不可欠と認識しております。

株主、投資家の皆様と建設的な対話を行ない、長期的な信頼関係を構築していきたいと考えております。

● IR体制

当社のIR活動は、財務担当役員が統括し、当該役員、広報部のIR担当者が財務部、総務部と連携して行なっています。

IR担当者は株主、投資家様方との対話を充実させるため、内容に応じて、各テーマの担当部署に情報提供を求め、各担当部署はIR担当者に協力しています。



決算説明会の様子



IRサイト
<http://www.meg-snow.com/ir/>

● IR活動

当社のIR活動として、下記の活動を行なっています。

そのほか、業績、事業内容、経営方針などを当社ホームページ上のIR情報サイトに掲載しています。

| 内容 | 対象者 | 開催時期／概要 |
|------------|-------------|--|
| 決算説明会 | アナリスト、機関投資家 | 年2回(半期毎) |
| スモールミーティング | アナリスト、機関投資家 | 年4回(四半期毎) |
| 個別ミーティング | アナリスト、機関投資家 | 随時 |
| 施設見学会 | アナリスト、機関投資家 | 不定期 2015年度は、阿見工場で施設見学会を行いました。 |
| カンファレンス | アナリスト、機関投資家 | 年2回 |
| 個人投資家説明会 | 個人投資家 | 不定期 2015年度は、北海道、北陸、関西地区で延べ7回、500名を超える方々にご参加いただきました。 |



私のCHALLENGE

雪印メグミルク(株) 財務部 (左から)伊藤 史・西川 智恵子・立木 瑞穂

仕事も育児も楽しみながら全力投球!

私たちは今までの仕事を是とせず、効率よく業務遂行していきます!